

ユーロ圏金融政策（2023年9月）

10会合連続の利上げで中銀預金金利は前例のない水準に

2023年9月15日

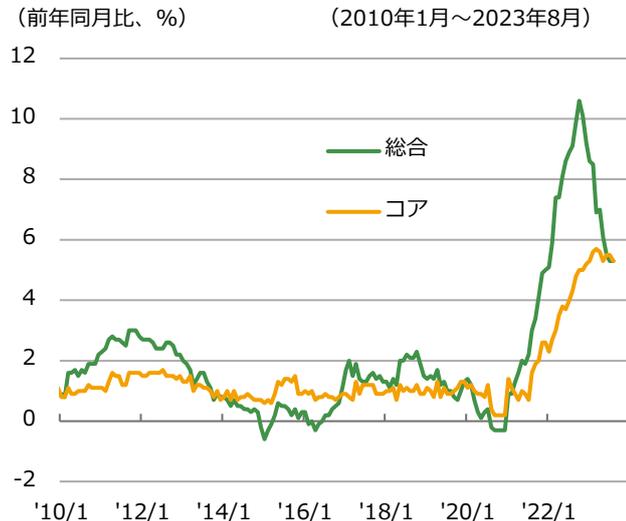
現水準で十分に長い期間維持されることを前提に利上げ打ち止めを示唆

ECB（欧州中央銀行）は9月14日（現地）の理事会で、0.25%ポイントの利上げを安定多数で決定し、中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って資金を預け入れる際の金利）を4%、主要リファイナンス（1週間の資金供給オペ）金利を4.5%としました。昨年7月の利上げ開始から10会合連続の利上げで、中銀預金金利はユーロ圏発足来前例のない水準に達しました。これまで同様、インフレがあまりにも長きに亘り高過ぎる状況が続くとの見通しに基づく決定です。

ラガルド総裁は理事会後の記者会見で、「ECBの政策金利は、十分に長い期間維持されれば、インフレ率が適切なタイミングで目標に回帰するのに大きく寄与する水準に達したと考える」との表現で、利上げ打ち止めを示唆しました。現在の評価に基づく判断であることを強調し、引き続きデータ次第の政策対応を謳いつつも、市場の織り込む各種市況データを所与として、2025年末にインフレ率は1.9%へ低下するとの見通しです。景気見通しは2023年7-9月期から2024年1-3月期までの3四半期について下方修正されましたが、その後は2025年末まで前期比0.4%の成長が続く予想で、景気後退は想定されていません。

理事会直前の市場予想は利上げがやや優勢で、利上げ自体に大きなサプライズはありませんでした。逆に、ECBが利上げ打ち止めを示唆したことを受けて、欧州の債券利回りは低下、株価は上昇、ユーロは大幅に下落しました。当面は利上げ打ち止めを織り込んだ値動きが続くと想定します。

ユーロ圏の消費者物価指数



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
(出所) リフィニティブ

ユーロ圏の金利と為替



※中銀預金金利は発表日ベース
(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。